

# 大会挨拶

早稲田大学バドミントン部長

理工学部教授 岩片秀雄



夏が過ぎて涼風が吹く頃になると思い出すように早慶戦が始まるのである。私は慶応の日吉のキャンパスの雰囲気が好きで試合中の余暇を盗んでは独りあの辺を散歩するのである。

本年も日吉で早慶戦が行われるので今からそれが楽しみである。

扱てこの早慶戦にはいろいろの意義があると思う。優勝を目指して双方が全力を尽して戦うことも一つの目的であろう。私が部長に就任して十二、三年に

の学生が競技を通じて親睦を図ることも一つの目的であろう。私が部長に就任して十二、三年に女子学生の方は、二度優勝していると思うが。

バドミントンに限らず総ての競技についていえることだが、最近他の諸大学に較べ早慶両校の選手の技量が低下したのは、如何なる理由によるのか質問を受けることがしばしばある。大学当局の考え方が、学生自身の力の入れ方の変化か、それともこれを受け入れる社会のせいかと。これに對し私は私なりの返答をするのであるが、実のところ余り自信がないのである。

来年はオリンピックの年である。バドミントンには直接の関係はないが、非常に大勢の外国人が日本に訪れるのである。ホテルや道路や各種の交通機関は準備に大差である。またオリンピックに出場する各種目の選手たちも必勝を期してそれぞれ猛練習をしているやに聞いている。オリンピックが東京で開催される意義には数々あるけれども立派な体軀を持った選手たちの競技を目の当り見たら我が国若少年男女の体力の増強といえることがもつと真剣に叫ばれるのではなからうか。

昔から健全な身体に健全な精神が宿るといわれるが、競技は通じて得たよろよろの体験を実社会に生かす、国際的視野に立って大きく活躍して戴きたいと思うのである。以上 (38.7.23記)



慶応義塾体育会バドミントン部長

商学部教授 白石孝

慶応定期戦も回を重ね今年には第11回を迎え、日吉記念館に両校のOBと学生諸君が楽しくお互いの技を競う事は真に喜びにたえませせん。今年度より高校生も参加し、年々斯道が盛大になることについては誠に楽しみです。

慶早戦においては両校の独特の雰囲気の中で親しみと尊敬を持って、スポーツ精神の交流し合う場だと思えます。今回も更にその意義を高め同時に一段と充実途上にありますので、意気と力の激突が予想されますが、どうか日頃練磨された技量と、スポーツマンシップを遺憾なく発揮され、大学バドミントンの精神と技術水準の向上に寄与したいものと考えます。終りに両校OB並び学生諸君の奮闘を御祈り致します。

# 監督挨拶

早稲田大学監督 菊地利明

早慶戦も数えて11回目。女子・OB戦はやゝ上向きの傾向を示しているが、依然として現役戦は末だしの感がある。春の関東リーグ戦に於ては新威力の中大が優勝以下混戦状態が続けているが、残念ながら我が早大は一段下回るのが事実である。よく最近体育会の集まりで、このバドミントンに限らず、早慶戦すべての人気と云うか、実際に試合内容が低下したのかは何とも云えないが、以前のそれに比べて評判が悪いといので真剣に検討している現在、選手諸君は云うに及ばず、OBその他すべての学関係者は、今後の定期戦は充分に心して当らねばならない。

その一端をあずかっているこの大会に於いても特に現役戦はもてる力を充分出し切つて戦い全敗に終止符をうつべく努力する事が、先に述べた様な悪評を吹き飛ばすのにいくらかでも役立つのではないかと思う。

とにかく、シーズン最初の大きな試合であるからOBの諸君も充分練習して昔とつたきねずかとやらを大いに発揮し現役選手の刺激剤として妙技を披露してもらいたいものである。(昭和30年教育学部卒業)

電 線 ・ ケ ー プ ル ・ 伸 銅 品 ・ プ ル ミ ニ ウ ム



古河電気工業株式会社

取締役本

植松清

100億円

内2の14

東京都千代田区丸の内  
日光・横浜・大阪・九州・平塚・千葉  
大阪・名古屋・福岡・仙台・札幌

取資本工支  
長金社場店

慶応義塾大学監督 越 川 啓

秋のシーズンのトップを切って恒例の早慶定期戦が行なわれることになりました。この定期戦はこれからの戦力を計るテストケースとして新オーダー編成の資料として重要さは大であります。

さて慶応も夏季合宿を終え、春のリーグ戦では、早稲田には勝利をおさめました。最近の早稲田の充実ぶりには目をみはるものがあり、全員必勝を期す意気と力に満ちあふれています。

幸いにして、昨年までは慶応の連勝に終わっていますが、この連勝記録を保持するか、ストップするか、両校とも日頃の練磨による実力を十二分に発揮し、充実した試合が展開され立派な成果を収められることを期待しています。


私達OBも此の日が近づくにつれて、現役時代が思い出され、古い仲間と語りあうのも楽しみなものであります。

歴史と伝統に培われた両校がこの定期戦に於て関東学生リーグ一部隊としての真価を十分に発揮して今後のバドミントン界の発展に多少なりとも寄与し、更に今後益々努力精進して、両校の親愛と理解が一層深められる様、念願して止みません。

両校の健闘に惜しみなく拍手を送ろう。(昭和33年経済学部卒業)

アルミニウム板・条・形材・管・棒・鍛造品・ダイカスト・鋳物製品

●米國アルコア社との技術提携による

 古河アルミニウム工業株式会社

取締役 長金社場  
取資本品製

植松 清丹  
30 億丹  
東京都千代田区丸の内2の14  
日光・小山  
古河電気工業株式会社

# 早慶定期戦に寄せて

早稲田大学 河崎 一幸  
32年商学部卒業

スポーツのあらゆる部門がそうであるように、バドミントンに於いても早慶戦ほど規模の大きい、内容の充実した定期戦は他にないといつても自負している。だがそれ以上に誇りにしていることは早稲田と慶応がスポーツばかりでなく、あらゆる分野で競うことを余議なくされながらもその反面で兄弟のように互に深い親しみを持ちあつていゝことである。それ故にこうした早慶戦というものを生んでくれた古き大先輩の努力に対し深く感謝せねばならない。私をはじめとして角帽を被つた年に早慶戦が開始され、あれから11年が経つた。世間で叫ばれている技術革新時代にふさわしく、バドミントンにも設備、用具といった面で、又更にプレー内容に於いても随分と進歩的な変化を遂げていることは確かである。来年は日本で世界選手権が開催されると聞いているが、今こそ、世界に仲間入りした以上現役プレーヤーはより以上努力し、新しいバドミントンを創造してゆかねばならないと思う。我が早稲田が関東リーグ一部の下位に低迷している現状がいつまでも続くとは思えぬが、一日も早く、年来の「弱い早稲田」という汚名とはサラバしたいものである。又それが今日まで色々と指導して下つた慶応さんへの恩返しと考へる。早稲田現役プレーヤーの奮起を期待する。

慶応義塾大学 吉田 格 磨  
32年経済学部卒業

毎年8月も終りに近づきますと、日吉の練習場にはいつも練習した事もないOB連も顔を出し、早慶バドミントン定期戦が間近くなってきたのを感じます。

OB連はお互に「出場しても動けないよ」とか「もうバドミントンはやめたよ」とか、「こんな疲れる事をやると明日の仕事にひびくよ」とか云っているが、これがなんと他のOBに対する牽制であつて内心は自分が出場しないと慶応は勝てないぐらゐのつもりで練習をしているのです。斯く云う私もその人であります。

今年で早慶バドミントン定期戦も11回目となり、私も第2回から参加しておりますが、この試合ほど両校が激しいフットでぶつかりあい、特にOB戦にいたつては不断のウツテンをはらすかのように大変な熱戦が多く（中には珍プレーもありますが出場している本人は真剣そのもの）その中にも早慶独特の和やかさと楽しさをもつ試合は他に類がないと思ひます。何はともあれ今年のOB戦は絶対に早稲田さんをよろこばす事はできません。森友先輩以下OB全員は現役同様に打倒早稲田を誓ひがんでいます。

さて現役ですが、早慶両校は関東リーグでは一部とは云うものの決して満足できる成績ではありません。戦後、Xと靴下が強くなつていゝとは云え、パレーで世界一になつた女性チームの練習とは比較になりません現在の両校は、なにしろガムシヤラに練習する以外優勝の道は開けないと思ひます。両校の部員諸君の努力と熱情で近い将来、早慶バドミントンが日本バドミントン界の天下分け目の試合となり、定期戦を基盤として両校が一層強くなる事を祈つて居ります。

最後に早稲田OB諸氏と久しぶりに会える事を楽しみにして居ります。

早稲田大学 波田野忠正  
34年法学部卒業

現役を去つて早くも4年になるが、早慶戦が近づくと学問はともかくとして、バドミントン主流に垂流の酒と麻雀によつて結ばれた先輩同輩諸兄との会合を楽しみにしているのは私一人ではあるまい。現役時代と現在では何が何んでも勝つという青春時に養つた覇気の持ち方に違いはあるが、現役諸君の試合を見ていると自然に何年か前の若き血と野人の熱気のことつた戦いの雰囲気に取り込まれるのを禁じ得ないのは、やはりこの早慶戦ならではと感ずる次第です。本年は11回目、過去10年の動かし難い戦績が示す通り敗者の屈辱は去年限りにしたのも。

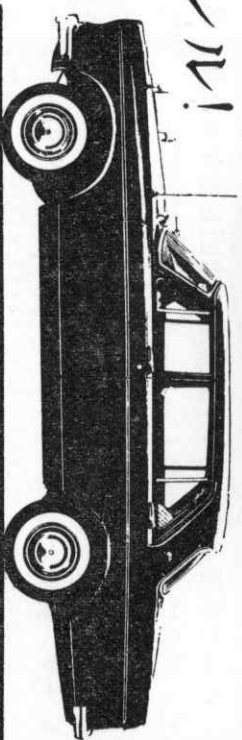
私は思うに去年迄慶応さんに微笑んでいた女神もそろそろ浮気をしたがっているのではないか。

空には宇宙飛行士のランデブーが行われたばかりであり、早大としても過去11年間に養つた実力で女神に浮気させようではないか。

例年見られるOBの好プレー珍プレー現役諸君の血潮に燃ゆるフアイト、各々どれを取つてもこの定期戦が本邦ずいーのものとして発展されるよう期待します。

## ワンダフル・ベレル! 青い目もピツクリ

優れたディーゼル乗用車をみながらた外国人も、ベレルディーゼルの注目、ニューヨークからもロンドン、パリ、ローマからもそしてオランダのアムステルダムからも、青い目のお客さまが来目。ベレルディーゼルの優秀性をまのあたりみて、青い目をいつそう大きくしました。



「いすゞ」

ベレル

ディーゼル

- 経済的なベレルディーゼル
- 静かなベレルディーゼル
- 自家用車もベレルディーゼル



いすゞ自動車

全国統一価格 ¥848,000(除・北海道)

廣 應 義 塾 大 学  
35 年 文 学 部 卒 業  
野 島 義

さあ早稲田の皆さん、また恒例の慶早バドミントン定期戦がやって来ましたね。頑張りましょう。

両校、OB現役がなごやかに顔を合わせるのも今回が11回目と小生塾バドミントン部OBの一員として誠に喜ばしい限りであります。

最近はこのスポーツに於ても一般世評として早慶両校の戦績が芳しくない云々と言われて居りますが、結果的に勝敗は勝たねばならぬことは当然であるが、技術的の優劣ではなく試合にのぞむ態度、云いかえれば若さと若さの激突であるから勝敗の最後の分岐点は、なにがなんでもこのゲームは勝ちとるといふ根性の不足ではないかと思えます。

今年はこの定期戦も11回目と二昔の世代に入ったという意味でも早慶両校の現役諸君もうだる暑さを忘れさす根性の試合を期待致します。

尚OB戦も若さの激突？を期待します。

早慶両校バドミントン部の洋々たる前途を祝福し発展を祈ります。

株 式 会 社

八 祥 才 。 ズ 株 式

横 浜 ス テ ー シ ョ ン ビ ル 4 階 (4) 8150  
横 浜 駅 名 品 街 (44) 0214



「勝たねばならぬ」この言葉は王将坂田三吉にだけ与えられた言葉ではない。我々世間一般のサラリーマンにも深く銘肝すべき言葉である。

酷暑とビタミン不足にも一皿のヤキトリと一ぱいのビールで明日への活力を培かい、山と積まれた仕事や、そこから生ずる不満そして圧迫をも打破していく。之も又、我々に課せられた「勝たねばならぬ」一つである。

そして今我々はもう一つの「勝たねばならぬ」ものに直面している。酷暑を乗切った余力で勝たねばならぬもの、それがこの早慶戦である。

現役諸君は勿論、慶応大学のOB諸兄も今日の一戦に供えて腕を磨かれた事でしょう。さて、早稲田現役諸君、この早慶戦は今年の後半に於る諸戦のベースキャンプともいふべきものである。ことベースキャンプを両校がどの高さに築くかによって今後の試合という峻険な山嶺に勝利のフラッグをいち早く打ち立てる事が可能になるかという大切な一戦なのである。過去10戦、我々の先輩をして又、我々が求めてついに求め得なかつた勝利の歓びを君達の手で勝ち取ってくれたまえ。勝たねばならぬのだ。そして慶応大学の現役諸君、君達の大先輩の築かれた今日までの伝統をなにかなんでも守らねばなるまい。こと気迫と意地がぶつかり合つてこそ天下に恥じない早慶戦が展開されることだと確信している。諸君の後進に範を示してくれてこそ全うされるものである。今日の試合は是非でも勝たねばならぬ。勝利に歓び、悲運に涙を流しそして互の健斗を讃えてこそ両校の友愛の精神も実るうというものである。

慶応義塾大学  
36年文学部卒業  
松田均

拝啓早慶現役諸君諸嬢及OB、OG殿 現在7月の初旬驚く程の猛暑が続くと思えますと突如として大雨が降り出し肌寒くなりましたり、全く天候不順な毎日が続いておりますが、皆様如何お過しですか。私などは人が云います程寒くありません。サラリーマン生活も3年目を迎えて、以前はある種の特長な引力により良く軌道を逸しがらつたのですが、最近ではその引力にも全く魅力を感じなくなり、ランデブー星とやらの如くごく平凡な繰返しを行っております。こんなことを書きますと、いかにも暇が有りそうなのですが、私も御多聞に洩れず、会社では仕事の鬼となることを強いられ、日曜日は日曜日で睡眠をむさぼる、てな調子ですのてたまには発刺とした現役諸君の練習振りでも拝見に上りたいのですが、それもままなりません。とにかくこんな単調さには何かストレスを与える必要を感じて居りますと、毎年うまい具合に早慶戦がやっております。早慶戦と云いますと懐しい面々と旧交を暖めることが出来る楽しみは勿論ですが、特に私の場合は私だけの秘密の為に、その日が待遠しくてなりません。秘密と云いますと、いささか誤解があるのですが、どういう風の吹き廻しか1年坊主の時よりOBの現在まで早慶戦では1回も負けたことがないのです。この事は、私の実力が有ったからとかましてや、早稲田の方が下手であったなどは夢にも思っております。多分現役の際に殆んど勝った試合の記憶のありません悲しき敗戦処理のエースに神が哀れみをほどこして下さった結果だと今でも堅く信じて居りますが……。

早いもので早慶戦も今年で11回目を迎えた訳ですが、過去の歴史を振り返って見ます時に、何か一沫の物足りなさを感んじるのは私だけではないと思います。確かに定期戦でありますので親睦を交すのも、対校意識を燃すのも結構でしょうが、どうもその点だけに集中されている様な気がしてなりません。

具体的にどういう事だと云われますとちよつと困りますが、例えばもうと世間注目されたいなら、云うなればこの定期戦がその年のバドミントン界の動向に決定的な影響を与える様な充実した催しになればと、OBとして願っております。どうかこれからの現役諸君、諸嬢は謂ゆるマンネリを打破する意味におきまして、この大目的に向かって一路邁進する気概を見せて欲しいものだと期待して居ります。まあ生意気な事を云いますのはさて置きますで、ポーナスもいたいたことですので、ラケットでも新調しましませう。美容の為？ にもなりますことですので、ぼちぼちトレーニングでも始めるとも有りです。それでは早慶戦のその日まで皆様ビールなどを飲みすぎたり、冷いものでお腹をこわしたりしない様に十分自愛され、元氣なお姿で再会するのを楽しみに致して居ります。

早稻田高等学院

主 務 手	將 務 手	前 田 田	又 正 久	彦 行 明	3 年	石川台中学
選 手	選 手	大 前 田	倉 久 良	郎 進 明	3 年	石川台中学
選 手	選 手	小 和 思	井 次 郎	郎 進 明	3 年	三河台中学
選 手	選 手	齊 德 松	藤 植 本	望 郎	2 年	文京第四中学
選 手	選 手		次 桂 光	郎 治 生	2 年	大森第三中学
					1 年	東田中学
					1 年	東田中学
					1 年	四谷第二中学
					1 年	四谷第二中学

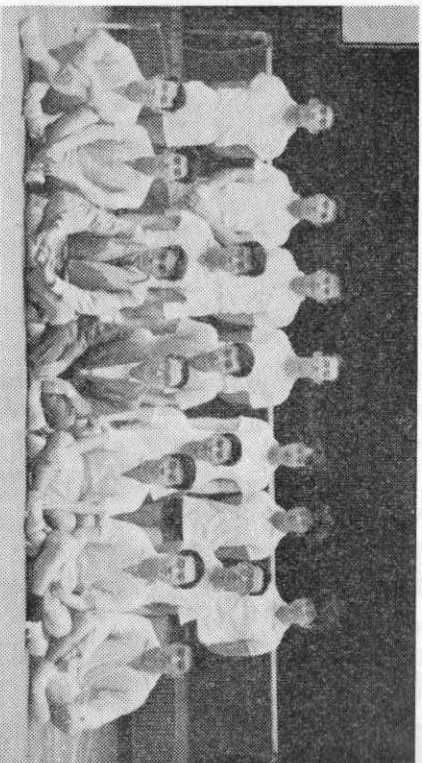
慶応義塾高等学校

部 長	奥 野 泰 雄	慶 応 義 塾 高 校 教 諭
監 督	吉 田 格 磨	慶 応 義 塾 大 学 32 年 卒
コ ー チ	大 田 中 嶋 進	慶 応 義 塾 大 学 法 学 部 4 年
副 コ ー チ	大 嶋 研 一	慶 応 義 塾 大 学 商 学 部 3 年
主 務 手	大 森 道 夫	3 年 慶 応 義 塾 普 通 部 出 身
選 手	石 川 重 男	3 年 慶 応 義 塾 中 等 部 出 身
選 手	野 村 村 重 潔	3 年 慶 応 義 塾 中 等 部 出 身
選 手	木 村 村 孝 二	3 年 慶 応 義 塾 中 等 部 出 身
選 手	原 村 佑 二	3 年 慶 応 義 塾 中 等 部 出 身
選 手	三 谷 忠 彦	3 年 慶 応 義 塾 中 等 部 出 身
選 手	後 藤 彰	3 年 目 黒 区 立 第 十 中 学 校 出 身





# 慶応義塾大学



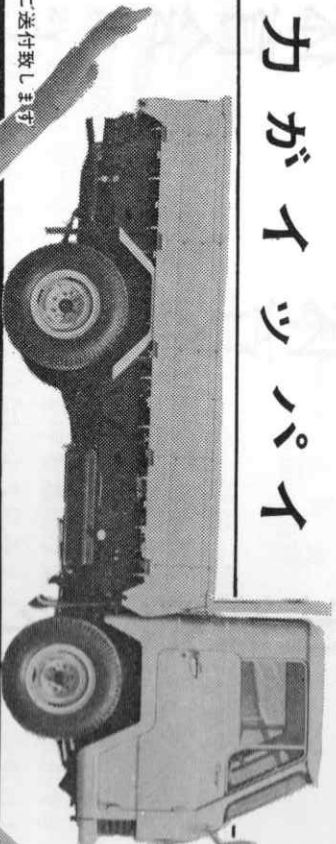
部長	石野川泰雄	慶応義塾大学 教授	
副部長	奥越吉	慶応義塾高校 教諭	
監督	野川田格	昭和33年経済学部卒	
監督	鈴木吉	昭和32年経済学部卒	
主将	海野勝弘	法学部4年	小山台高校出身
副将	田中辰進	経済学部4年	慶応高校出身
選手	福田洋之助	経済学部4年	慶応高校出身
選手	井上久志	経済学部4年	新宿高校出身
選手	平林敏彦	商学部4年	小山台高校出身
選手	長谷川勝彦	商学部3年	関東学院高校出身
選手	轟西維忠	経済学部3年	小山台高校出身
選手	香西嘉昭	商学部3年	高松高校出身
選手	木山秀弘	法学部3年	高松高校出身
選手	本李家嶋一	経済学部3年	秋田高校出身
選手	大山洋仁	法学部3年	慶応高校出身
選手	山本洋彦	経済学部3年	慶応高校出身
選手	水野美奈子	法学部2年	緑ヶ丘高校出身
選手	新井正恵子	文学部2年	慶応女子高校出身
選手	佐野理恵子	経済学部1年	慶応女子高校出身
選手	根本恭子	文学部1年	慶応女子高校出身

# 慶早戦の思い出

慶応義塾大学  
32年文学部卒業 石田裕

第1回慶早戦は、私が塾に入学した年であったが、それからもう11年、当時の塾は文字通り黄金時代...全く当るところ敵なしという状態であり、現役諸君には想像もつかぬ(失礼)実力差で学生バドミントン界をリードしていた。当時の学生チームは現在のように1部、2部といったリーグ戦ではなく、大学野球と同じリーグ戦方法を採用していた。従ってリーグ戦に加盟していない早大とは対戦する機会もなく、ただ慶早のよしみというだけで、合同で二度程練習した位であり、伝統の慶早戦の緒戦といっても、なにかしら意気の上らぬ練習試合といった感じのハンデイクヤップが両校の間であった。塾のメンバーも卒業見込者優先という実力を無視した組合せを作り対戦したが、それでも一方的に大勝したと記憶している。試合終了後の懇親会の席上早大側から「ここ数年は慶応に星を借りよう、然し毎年一歩ずつ近づいて必ず借りたものはお返ししますから、将来を楽しみにして下さい」と挨拶されたが、その後、数回合同練習を行なってみて、その言葉は決して間違っていないと思った。その後の数回の合同練習でむしろ選手がその実力、粘りの点で学ぶ所が多くあったと思う。その後、早大の猛練習の成果から第2回、第3回と徐々に実力差がなくなり勝星が次第に増えてきた事は、選手にとっても面白く、面白く、伝統の一戦をますます豊富な内容に創り上げていった。一方OB戦を振り返ると、毎年接戦を繰返しているが、この実力差は殆んどないというのも良いであろう。その原因は.....やはり名譽職の年令はそう違はない故でなからうか? OBにとっては慶早戦は毎年1回の晴れの舞台であり、勝負よりも参加することに大きな意味をもつオリビック精神から老骨に鞭うって(失礼)出場する気持は現役諸君には理解出来ぬだろう。そこで私は、一つの提案を出したい。OB戦は年令別ハンデイクヤップをつけて試合を実施したらどうか。賛成の方は早速慶早戦の終了後、集まりましょう。なにはともあれ、慶早戦の思い出は学生時代の交遊を通じて、もっとも楽しいものであり、永遠に続く両校の強いきつなはしっかりと結び、共に栄光あれと念ずる次第です。

## カガイツパイ



●カタログご送付致します

●強力なエンジン／素晴らしい経済性／頑丈な機構／この3つの長所をもつキャンターは、あなたの事業に永遠のバリエーションを提供いたします。

エントパーセトルトラック  
キャンター

三菱工業株式会社

東京都港区芝新橋1の6 電話(572) 0251(大代)

# 主 将 抱 負

早稲田大学 主将 今 井 清 兼  
バドミントン部

この早慶定期戦もはや11回目を迎える事となり、我々4年生にとつて現役最後の早慶戦となつてしまつた。今回からは昨年生ぶ声をあげた早大高等学院のバドミントン部も加わり、この伝統ある定期戦もいよいよ盛んになつていく事と思います。

さて、現在迄の対戦成績は遺憾乍ら早稲田の10連敗であり、敗れるところまで敗けた早稲田は既に剣ヶ峰に來ている次第です。これ以上は意地でも敗けられないのである。そこで我々はトレーニング、合宿とに於て、早慶戦初の勝利を我手中に治める為に“打倒慶応”を唯一の目標として全部員が一丸となつて練習に励んでまいりました。この2年間の試合は接戦ではあつたがあと一歩という処で涙を吞んでいる。何かが欠けていた。しかし今年は違う。何んとしても慶応には勝つのだと云う意欲に全員が燃えているからである。早稲田の意地で初の1勝を勝ち取るであらう。しかし伝統ある慶応はそう簡単に破れはしないであらうが、そこは早稲田溢れる闘志と強固な団結とに物云わせ、必ずや慶応を倒し、今迄の恩返しの意味でも初の1勝を挙げ、この1勝を連勝への足掛りとする為にも必死になつて戦いぬぐ覚悟で居ります。先輩諸兄の御声援をお願い致します。最後にこの定期戦を通じて早慶両校が良きライバルとして、更に発展していかれん事を希望します。

慶 応 義 塾 体 育 会  
バドミントン部 主 将 鈴 木 明

第11回早慶バドミントン定期戦を迎えた事を部員一同慶んでおります。

早稲田の方々も慶応同様大変張り切つている事と思います。いわゆる氣の入らない試合ほど面白くないのはありません、早稲田の方々も張り切れれば張り切るほどこちらもやりがいがあります。まだ慶応は初回から負けた事はありません。負けた事がないという事はこれからも又負けられないという事です。勝者の誇りを守る為には氣をゆるめる事ができません。ふりかえつてみると、昨年、一昨年は僅少差で危ないようにみえましたが、今年は大差で勝つつもりです。又それだけの駒も揃つています。

この早慶戦にあつて早稲田のOBの方々が合宿なさると聞きました。そのフアイトには敬意を表します。できる事ならこのフアイトを現役の時に示してくれたら、これまでの早慶戦の内容も対戦成績も変つていたのではないかなと思つています。合宿をしたあげくに試合当日には足腰が動かなかつた等という事はありませんように。

この早慶バドミントン定期戦は他の定期戦に類を見ないダブルス5、シングルス10のラング順の対戦です。これは考えようによつては大差がつくかも知れない。けれど相手を良く研究すれば又逆転もあり得る性質をもつものです。早稲田も十分研究練習をつんだ事と思います。けれど慶応はそれ以上のものをお目かけます。孫子に彼を知り、己れを知れば百度戦うも危うからずという言葉があります。十分研究練習し、先輩に敗けない、又後輩に手本を示すような立派な試合をしたいと思つています。それでは早稲田の諸君、コートの上で。